

2011年2月3日

# 2011年3月期第3四半期決算の概要



東レ株式会社

# 目次

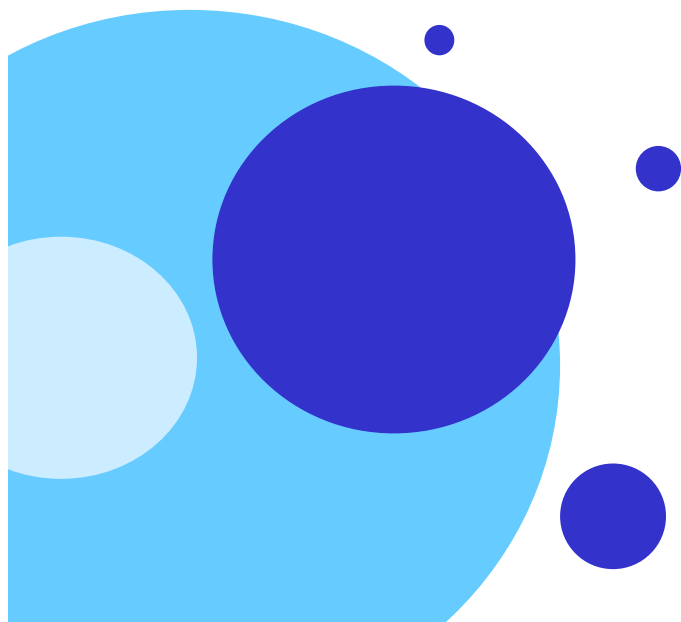
## I. 2011年3月期第3四半期決算の概要

2011年3月期第3四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)	(P18)
セグメント別営業利益 2Qvs3Q比較	(P19)

## II. 2011年3月期連結業績見通し

2011年3月期連結業績見通し	(P21)
セグメント別業績見通し	(P22)
セグメント別営業利益 2Q時見通しvs今回比較	(P23)

# I . 2011年3月期第3四半期決算の概要



# 2011年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上高	3,619	3,935	+316 (+8.7%)	9,798	11,268	+1,470 (+15.0%)
売上原価	2,975	3,145	+170 (+5.7%)	8,091	9,014	+923 (+11.4%)
売上総利益	644	790	+146 (+22.6%)	1,707	2,255	+547 (+32.0%)
(売上高総利益率)	17.8%	20.1%	+2.3 ポイント	17.4%	20.0%	+2.6 ポイント
販売費及び 一般管理費	497	515	+18 (+3.6%)	1,506	1,555	+49 (+3.3%)
(売上高販管費比率)	13.7%	13.1%	-0.6 ポイント	15.4%	13.8%	-1.6 ポイント
営業利益	147	274	+128 (+86.8%)	202	700	+498 (+246.6%)
(売上高営業利益率)	4.1%	7.0%	+2.9 ポイント	2.1%	6.2%	+4.1 ポイント
営業外収支	▲ 193	8	+200	▲ 275	▲ 13	+262
経常損益	▲ 46	282	+328 (-)	▲ 73	687	+759 (-)
特別損益	▲ 34	▲ 12	+22	▲ 84	▲ 58	+26
税前提損益	▲ 80	270	+350 (-)	▲ 157	629	+786 (-)
四半期純損益	▲ 131	189	+320 (-)	▲ 194	438	+632 (-)

	(10/3 3Q)	→	(11/3 3Q)	(10/3 3Q累計)	→	(11/3 3Q累計)
為替レート <円/US\$> 期中平均	: 89.7	→	82.6	93.6	→	86.8
期末	: 92.1	→	81.5			
<円/ユーロ> 期中平均	: 132.7	→	112.2	133.0	→	113.3
期末	: 132.0	→	107.9			
原油価格 <US\$/バレル> (DUBAI FOB) 期中平均	: 75.2	→	84.3	67.4	→	78.8

(注)3月期決算会社は10~12月の業績、12月期決算会社は7~9月の業績を連結

# 営業外収支

億円

	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業外収益	22	36	+14	53	113	+60
受取利息及び配当金	8	10	+2	20	24	+4
持分法による投資利益	-	16	+16	-	57	+57
雑収入	15	11	-4	33	32	-1
営業外費用	▲ 215	▲ 29	+186	▲ 328	▲ 126	+202
支払利息	▲ 21	▲ 15	+6	▲ 70	▲ 50	+21
持分法による投資損失	▲ 162	-	+162	▲ 160	-	+160
雑損失	▲ 32	▲ 13	+19	▲ 98	▲ 76	+21
営業外収支	▲ 193	8	+200	▲ 275	▲ 13	+262
金融収支	▲ 13	▲ 5	+8	▲ 50	▲ 26	+24

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 特別損益

億円

	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
特別利益	2	6	+4	4	22	+18
有形固定資産売却益	1	2	+1	3	6	+3
投資有価証券売却益	1	1	+0	1	17	+16
投資有価証券評価損戻入益	-	3	+3	-	-	-
特別損失	▲ 36	▲ 19	+17	▲ 88	▲ 80	+8
有形固定資産処分損	▲ 17	▲ 15	+2	▲ 33	▲ 32	+1
減損損失	▲ 13	-	+13	▲ 20	-	+20
投資有価証券評価損	▲ 1	-	+1	▲ 22	▲ 27	-5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	-	-	-	▲ 14	-14
関係会社事業損失	▲ 3	-	+3	▲ 3	-	+3
その他	▲ 3	▲ 3	-1	▲ 10	▲ 6	+4
ネット特別損益	▲ 34	▲ 12	+22	▲ 84	▲ 58	+26

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	10年3月末	10年12月末	増減
資産合計	15,568	15,809	+241
流動資産	6,405	7,171	+767
有形固定資産	5,803	5,357	-447
無形固定資産	104	93	-11
投資その他	3,256	3,188	-68

	10年3月末	10年12月末	増減
負債合計	10,386	9,478	-907
流動負債	5,140	4,743	-397
固定負債	5,246	4,735	-511
純資産合計	5,182	6,331	+1,149
有利子負債残高	6,322	5,338	-984
D/Eレシオ	1.34	0.91	-0.43

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

億円

	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動	480	567	+87
投資活動	▲479	▲310	+169
フリー・キャッシュ・フロー	2	258	+256

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
設備投資額	386	325	-62	東レ:84、国内:47、海外:193
減価償却費 ー)	554	518	-36	東レ:263、国内:68、海外:187
振替・除却等	18	▲ 253	-271	
有形固定資産増減	▲ 150	▲ 447		
研究開発費	340	344	+3	

主な設備投資:

<海外>

TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.) : 光学用ポリエステル(PET)フィルム設備(韓国)

TPN (Toray Polytech (Nantong) Co., Ltd.) : 高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備(中国)

TBMC (Toray BlueStar Membrane Co., Ltd.) : 水処理膜設備(中国)



# セグメント別売上高・営業利益

	売上高			営業利益			億円
	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	
繊維	1,512	1,683	+170 (+11.3%)	74	120	+45 (+60.9%)	
プラスチック・ケミカル	890	939	+49 (+5.5%)	40	77	+37 (+94.3%)	
情報通信材料・機器	603	604	+1 (+0.2%)	67	96	+29 (+42.7%)	
炭素繊維複合材料	143	177	+34 (+23.7%)	▲ 6	7	+14 (-)	
環境・エンジニアリング	326	363	+37 (+11.3%)	▲ 1	▲ 7	-6 (-)	
ライフサイエンス	114	138	+23 (+20.4%)	9	20	+11 (+121.3%)	
その他	31	32	+1 (+3.2%)	1	3	+2 (+309.9%)	
計	3,619	3,935	+316 (+8.7%)	184	316	+132 (+72.0%)	
調整額				▲ 37	▲ 41	-5	
連結	3,619	3,935	+316 (+8.7%)	147	274	+128 (+86.8%)	
	売上高			営業利益			
	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
繊維	3,963	4,413	+450 (+11.4%)	102	255	+153 (+150.5%)	
プラスチック・ケミカル	2,427	2,805	+377 (+15.5%)	75	198	+122 (+162.7%)	
情報通信材料・機器	1,676	1,966	+290 (+17.3%)	142	309	+167 (+118.2%)	
炭素繊維複合材料	352	495	+143 (+40.5%)	▲ 17	20	+37 (-)	
環境・エンジニアリング	943	1,097	+154 (+16.3%)	▲ 4	▲ 22	-18 (-)	
ライフサイエンス	338	393	+55 (+16.3%)	15	53	+39 (+265.9%)	
その他	98	99	+2 (+1.6%)	2	7	+5 (+218.2%)	
計	9,798	11,268	+1,470 (+15.0%)	314	819	+505 (+160.7%)	
調整額				▲ 112	▲ 120	-7	
連結	9,798	11,268	+1,470 (+15.0%)	202	700	+498 (+246.6%)	

2011年3月期から、マネジメント・アプローチに基づきセグメント開示内容を変更しています。  
2010年3月期の数値につきましても、変更後のセグメントに組み替えて表示しています。

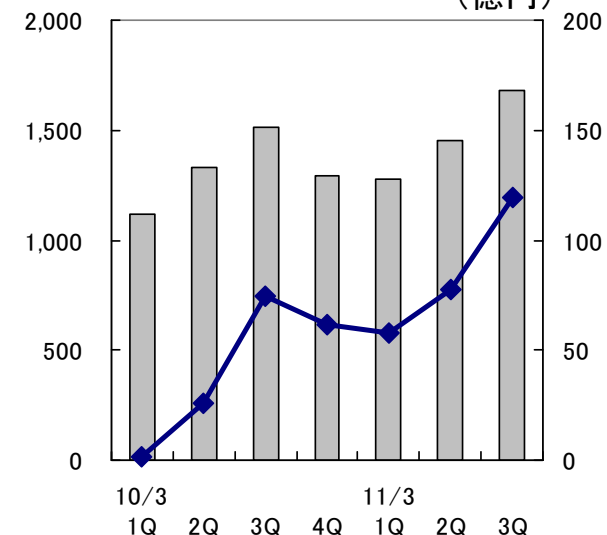
# セグメント別業績(繊維)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)

単位:億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		10年 3月期	11年 3月期	増減	10年 3月期	11年 3月期	増減
売上高	東レ	227	255	+28 (+12.5%)	658	757	+99 (+15.1%)
	国内	826	947	+121 (+14.6%)	2,100	2,293	+193 (+9.2%)
	海外	460	481	+21 (+4.6%)	1,206	1,363	+157 (+13.1%)
	計	1,512	1,683	+170 (+11.3%)	3,963	4,413	+450 (+11.4%)
営業利益	東レ	9	26	+17 (+183.6%)	▲ 6	74	+80 (-)
	国内	26	31	+5 (+17.3%)	51	59	+8 (+15.4%)
	海外	31	54	+23 (+74.3%)	47	123	+76 (+161.6%)
	修正	8	8	+1	9	▲ 1	-10
	計	74	120	+45 (+60.9%)	102	255	+153 (+150.5%)



## 3Q(10~12月)

### 増収増益

**東レ** : 産業用途は、エアバッグ向け等の自動車関連用途に加え、一般資材用途も堅調に推移。衣料用途でも、販売数量が拡大。

**国内子会社** : 一部商事子会社の大手SPA向け縫製品事業をはじめ、全般的に堅調に推移。

**海外子会社** : 中国の縫製品事業及び、韓国・中国の紙おむつ向けPP不織布事業やポリエステル長繊維事業等、総じて堅調に推移。

## 3Q累計 (4~12月)

### 増収増益

国内では産業用途がエアバッグ向け等の自動車関連用途に加え、一般資材用途でも堅調に推移し、衣料用途は大手SPA等向け縫製品を含め販売数量が拡大。海外では、韓国・中国の紙おむつ向けPP不織布事業や、タイやチェコのエアバッグ向け原糸・基布事業、中国のテキスタイル事業、中国・韓国・アセアンのポリエステル繊維事業等の各事業が堅調に推移。

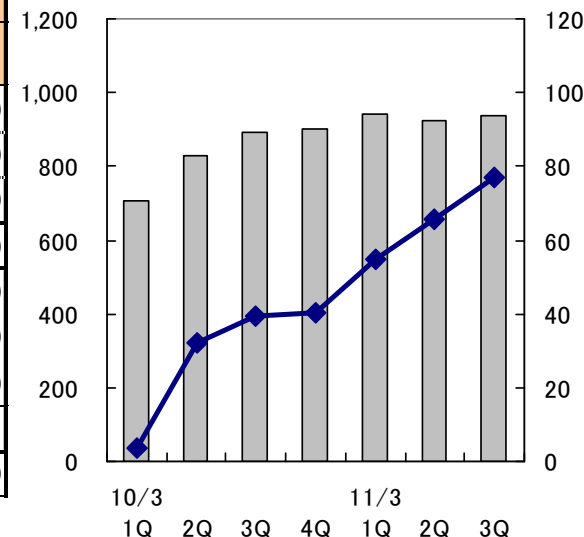
# セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		10年 3月期	11年 3月期	増減	10年 3月期	11年 3月期	増減
売上高	東レ	169	181	+12 (+6.9%)	469	535	+65 (+13.9%)
	国内	349	343	-5 (-1.5%)	971	1,023	+53 (+5.4%)
	海外	372	415	+43 (+11.5%)	988	1,247	+259 (+26.2%)
	計	890	939	+49 (+5.5%)	2,427	2,805	+377 (+15.5%)
営業利益	東レ	4	11	+7 (+170.2%)	▲ 5	36	+42 (-)
	国内	18	19	+1 (+7.1%)	41	59	+19 (+46.5%)
	海外	16	46	+30 (+183.3%)	38	102	+65 (+170.3%)
	修正	1	0	-1	2	▲ 0	-3
	計	40	77	+37 (+94.3%)	75	198	+122 (+162.7%)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)



3Q(10~12月)

**増収増益**

**東レ** : 樹脂事業は、家電用途を中心に拡販。フィルム事業では、太陽電池バックシート用途をはじめとした工業材料用途が堅調に推移。

**国内子会社**: 総じて堅調に推移。

**海外子会社**: 好調な需要を背景に、フィルム子会社が各社とも好調に推移。マレーシアの樹脂子会社は、中国・アジア向けの家電用途を中心に大幅に収益を拡大。

3Q累計  
(4~12月)

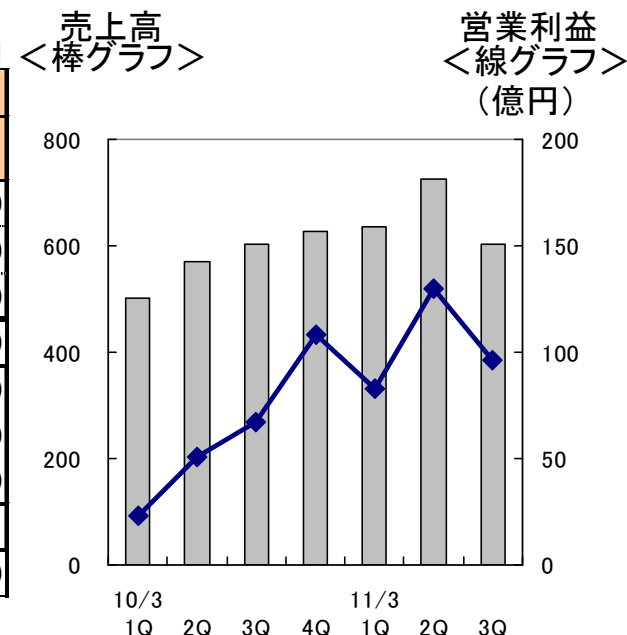
**増収増益**

樹脂事業では、上半期に好調であった国内自動車販売がエコカー補助金打ち切りの影響で秋口から低調に推移したものの、新興国向け自動車生産は引き続き好調に推移した他、猛暑やエコポイント制度による家電製品の販売増等による需要回復が継続。フィルム事業では、国内外で、太陽電池用途、包装材料用途等の工業材料分野全般で販売が堅調に推移。

# セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		10年 3月期	11年 3月期	増減		10年 3月期	11年 3月期	増減	
売上高	東レ	243	254	+11	(+4.3%)	706	823	+116	(+16.5%)
	国内	190	162	-29	(-15.1%)	533	567	+33	(+6.3%)
	海外	170	189	+20	(+11.6%)	436	576	+140	(+32.2%)
	計	603	604	+1	(+0.2%)	1,676	1,966	+290	(+17.3%)
営業利益	東レ	34	56	+22	(+63.3%)	73	190	+117	(+159.3%)
	国内	11	7	-4	(-37.3%)	28	35	+7	(+23.7%)
	海外	21	33	+11	(+53.1%)	39	83	+44	(+112.6%)
	修正	1	0	-0		1	1	+0	
	計	67	96	+29	(+42.7%)	142	309	+167	(+118.2%)



## 3Q(10~12月)

### 売上げ横這い増益

**東レ** : FPDパネルメーカーの生産調整の影響を受けるも、旺盛なスマートフォン需要により、電子部品・タッチパネル用フィルム及びフィルム加工品や、液晶関連材料が堅調に推移。

**国内子会社** : IT関連機器子会社の売上が減少。

**海外子会社** : 韓国子会社のフィルム及びフィルム加工品が好調に推移。回路材料事業はFPDパネルメーカーの生産調整の影響を受けた。

## 3Q累計 (4~12月)

### 増収増益

テレビ向けを中心とした大型ディスプレイ需要が秋口から一部調整に入ったものの総じて堅調に推移していることに加え、スマートフォン向け等の中小型ディスプレイ需要も継続して拡大しており、フラットパネルディスプレイ用フィルム及びフィルム加工品、液晶関連材料等が好調に推移。また、半導体関連材料やプラズマディスプレイ用材料等も数量を伸ばした。

# 情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

## 【サブセグメント別売上高推移】

単位: 億円

	10/3期第3四半期 (10~12月)		11/3期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	208	34%	231	38%	+11%
電子部品・半導体・回路材料	227	38%	233	39%	+3%
記録材料	78	13%	84	14%	+8%
機器他	90	15%	55	9%	-38%
情報通信材料・機器セグメント合計	603		604		+0%

	10/3期第3四半期累計 (4~12月)		11/3期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	606	36%	796	40%	+31%
電子部品・半導体・回路材料	592	35%	721	37%	+22%
記録材料	216	13%	250	13%	+16%
機器他	262	16%	199	10%	-24%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,676		1,966		+17%

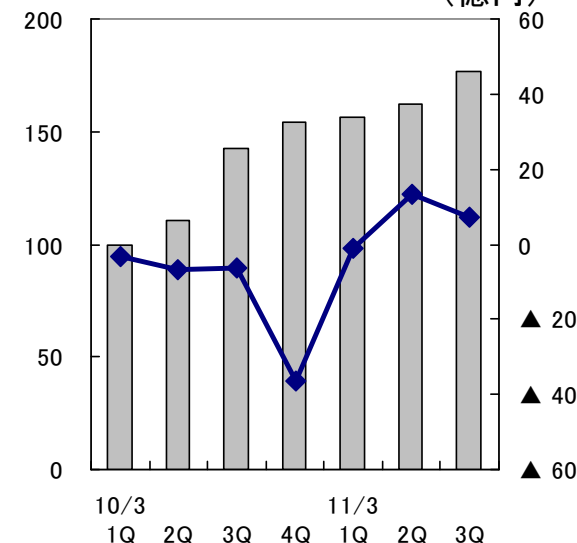
# セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		10年 3月期	11年 3月期	増減		10年 3月期	11年 3月期	増減	
売上高	東レ	109	136	+27	(+25.0%)	269	385	+116	(+43.0%)
	国内	80	106	+26	(+32.8%)	182	284	+102	(+55.9%)
	海外	97	139	+41	(+42.6%)	226	370	+144	(+63.7%)
	修正	▲ 143	▲ 204	-61		▲ 325	▲ 544	-219	
	計	143	177	+34	(+23.7%)	352	495	+143	(+40.5%)
営業損益	東レ	1	▲ 0	-1	(-)	▲ 23	16	+39	(-)
	国内	1	1	-0	(-1.3%)	1	3	+1	(+92.9%)
	海外	▲ 6	7	+13	(-)	▲ 14	8	+21	(-)
	修正	▲ 2	▲ 0	+2		19	▲ 7	-25	
	計	▲ 6	7	+14	(-)	▲ 17	20	+37	(-)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)



本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

## 3Q(10~12月)

### 増収増益

各地域で、航空宇宙、スポーツ、一般産業の各用途とも需要の回復が継続する中、拡販に努め、数量拡大。併せて、需給バランスが緩んだため下落していた販売価格の値戻しに注力。

## 3Q累計 (4~12月)

### 増収増益

航空宇宙、スポーツ、一般産業の各用途とも需要回復が継続し、炭素繊維“トレカ”及び“トレカ”プリプレグ(炭素繊維樹脂含浸シート)の販売量、生産量が増加。パソコン筐体等の情報機器分野を中心に、炭素繊維成形品(コンポジット)の販売も拡大。併せて、販売価格の値戻しに注力。

# 炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	10/3期第3四半期 (10~12月)		11/3期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	67	47%	76	43%	+14%
スポーツ	26	18%	39	22%	+51%
一般産業	50	35%	62	35%	+22%
炭素繊維計	143		177		+24%

	10/3期第3四半期累計 (4~12月)		11/3期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	141	40%	201	41%	+43%
スポーツ	68	19%	106	21%	+57%
一般産業	144	41%	188	38%	+30%
炭素繊維計	352		495		+41%



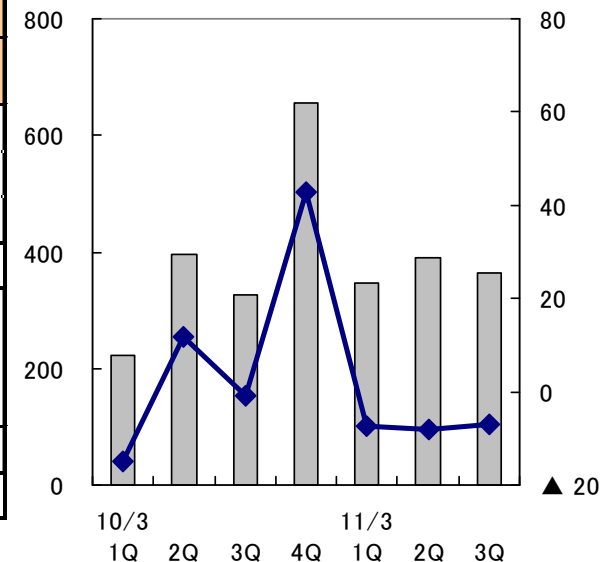
# セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)

単位:億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		10年 3月期	11年 3月期	増減	10年 3月期	11年 3月期	増減
売上高	東レ	14	18	+4 (+27.5%)	45	73	+28 (+62.8%)
	国内	300	336	+36 (+12.0%)	867	995	+129 (+14.9%)
	海外	11	9	-3 (-25.4%)	32	28	-3 (-10.9%)
	計	326	363	+37 (+11.3%)	943	1,097	+154 (+16.3%)
営業損益	東レ	▲7	▲7	+0 (-)	▲21	▲24	-3 (-)
	国内	8	1	-7 (-92.7%)	18	2	-16 (-89.1%)
	海外	▲1	▲1	+0 (-)	▲6	▲1	+5 (-)
	修正	▲1	0	+1	5	1	-4
	計	▲1	▲7	-6 (-)	▲4	▲22	-18 (-)



## 3Q(10~12月)

### 増収減益

**東レ** : 逆浸透膜の海外大型プロジェクト向け販売が拡大。

**国内子会社**: 商事子会社は機械輸出の取扱高を拡大するも、エンジニアリング事業の業況が低調に推移。

**海外子会社**: 米国子会社が、逆浸透膜の販売量を伸ばすも、円高の影響を受けた。

## 3Q累計 (4~12月)

水処理事業では逆浸透膜の海外大型プロジェクト向け販売が引き続き拡大。国内子会社では、商事子会社が取扱高を伸ばしたが、建設子会社は低調に推移。

### 増収減益



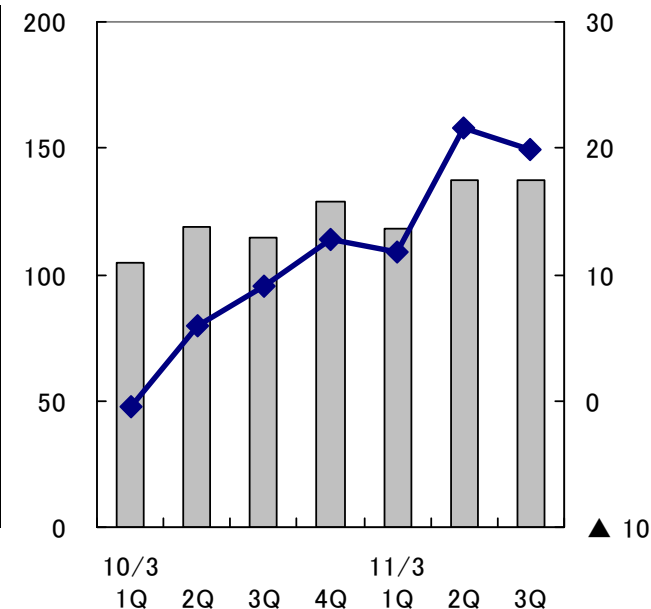
# セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		10年 3月期	11年 3月期	増減	10年 3月期	11年 3月期	増減
売上高	東レ	24	43	+18 (+76.3%)	68	109	+42 (+62.1%)
	国内	88	93	+5 (+5.5%)	259	275	+17 (+6.5%)
	海外	2	2	+0 (+1.4%)	12	8	-4 (-30.8%)
	計	114	138	+23 (+20.4%)	338	393	+55 (+16.3%)
営業利益	東レ	10	20	+10 (+92.0%)	10	45	+35 (+364.0%)
	国内	1	1	±0 (±0.0%)	1	7	+6 (+444.1%)
	海外	0	0	-0 (-38.9%)	1	1	-0 (-38.4%)
	修正	▲3	▲1	+1	3	0	-2
	計	9	20	+11 (+121.3%)	15	53	+39 (+265.9%)

売上高  
＜棒グラフ＞

営業利益  
＜線グラフ＞  
(億円)



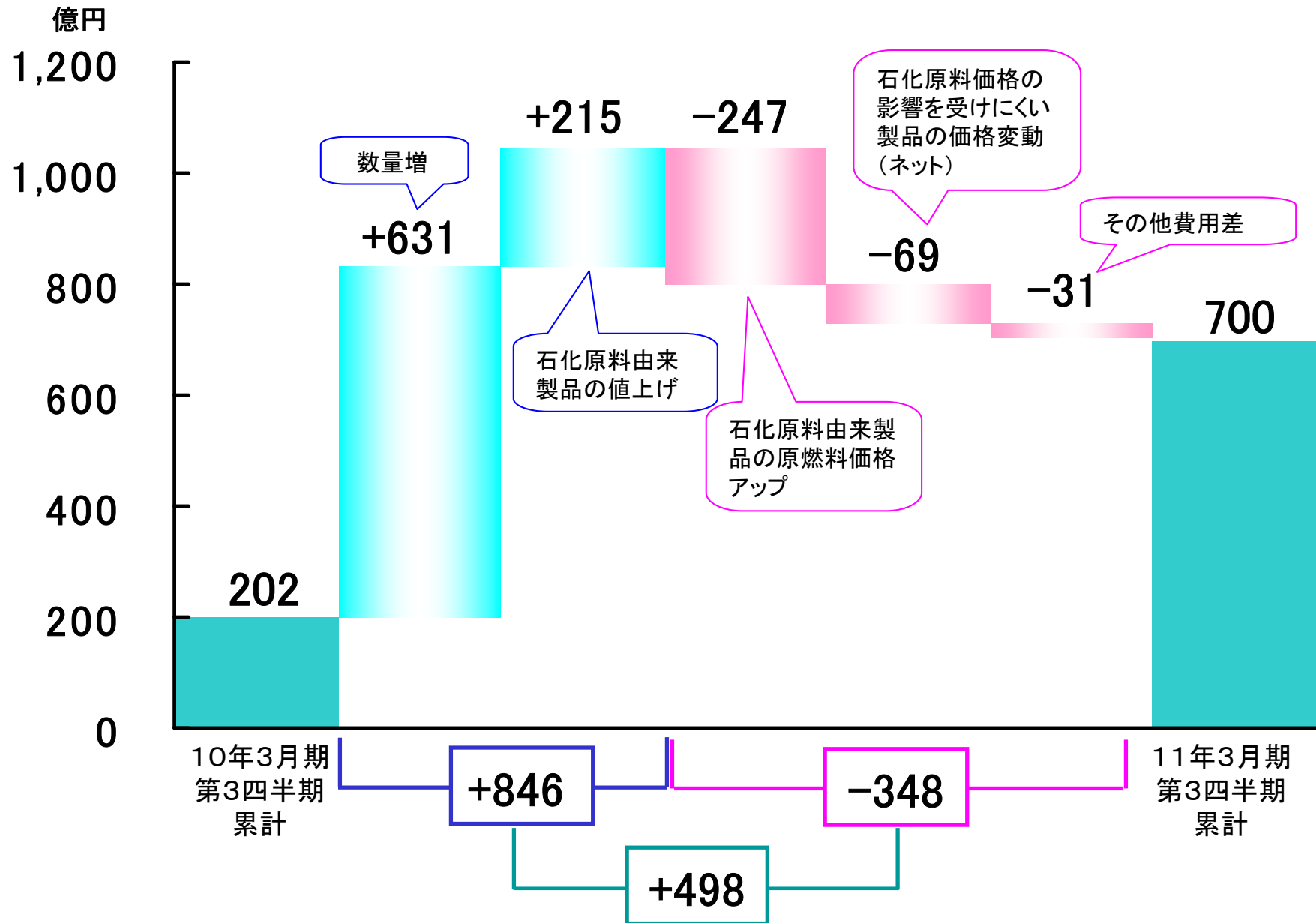
## 3Q(10~12月) 増収増益

2009年10月に国内でのC型慢性肝炎に対するリバビリンとの併用の効能追加の承認を取得した天然型インターフェロン ベータ製剤“フェロン”を拡販。経口そう痒症改善剤レミッチ®の出荷も好調に推移。

## 3Q累計 (4~12月) 増収増益

天然型インターフェロン ベータ製剤“フェロン”、経口そう痒症改善剤レミッチ®の販売数量の拡大が継続したことに加え、医療機器ではエンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器“トレミキシン”の出荷が好調に推移。

# 営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)



# 主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)

億円

		売上高			営業利益		
		10年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	増減	10年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	11年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	増減
東レインターナショナル		2,556	3,268	+712	48	55	+7
東レエンジニアリング		595	501	-94	25	9	-17
東レ建設		260	199	-60	0	▲10	-10
東レフィルム加工		323	400	+77	17	30	+13
東レ・メディカル		261	277	+16	1	7	+6
TAK(韓国)		512	654	+142	50	114	+64
TPM(マレーシア)		382	485	+103	14	23	+9
在東南アジア・子会社 * 1	繊維	560	673	+113	8	27	+19
	プラスチック・ケミカル	430	565	+135	18	45	+27
	その他	49	55	+6	2	3	+2
	計	1,038	1,292	+254	28	75	+47
在中国・子会社 * 2	繊維	720	803	+83	19	55	+36
	プラスチック・ケミカル	272	353	+81	3	9	+6
	その他	65	85	+20	1	2	+1
	計	1,056	1,241	+185	22	66	+44
在外・フィルム子会社 * 3	プラスチック・ケミカル	470	572	+102	18	60	+42
	情報通信材料・機器	253	358	+104	26	71	+45
	計	724	930	+206	45	131	+86

\* 1: ITS、ETX、Istem、ACTEM、CENTEX、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

\* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TSL、THK-G、TPCH-G、RKH/RKZ、TFH/TFZ、TBMC 単純合計

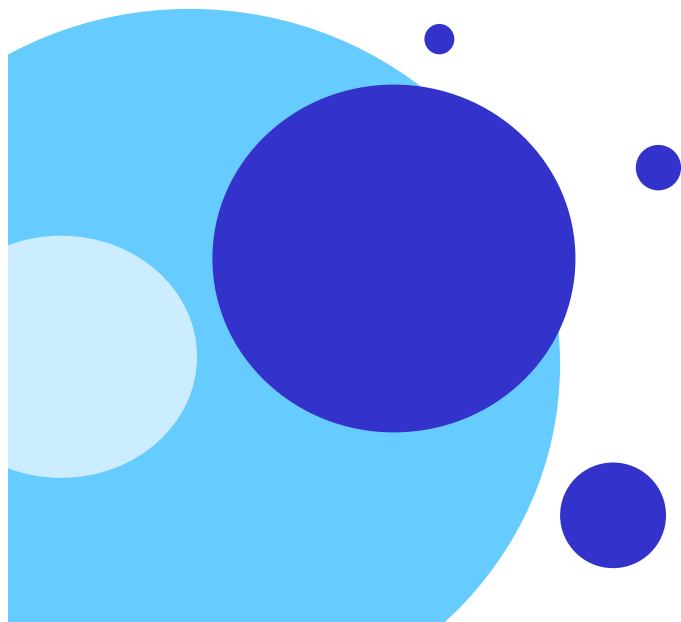
\* 3: TAK、PFR、TPA、TPEu、TFE、TFH/TFZ 単純合計

# セグメント別営業利益 2Qvs3Q比較

億円

セグメント	営業利益 11年3月期2Q→ 11年3月期3Q ( )内差異	増減益要因
繊維	78 →120 (+42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内商事子会社および海外商事子会社の秋冬物商品の出荷がピークを迎えた。</li> <li>・中国、アセアン、韓国の繊維子会社も堅調に推移。</li> </ul>
プラスチック ・ケミカル	66 →77 (+11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マレーシアの樹脂子会社及びフィルム子会社は拡販と価格転嫁を推進。</li> </ul>
情報通信材料 ・機器	130→96 (-34)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東レのフィルム事業、国内フィルム加工子会社、韓国回路材料子会社は、フラットパネルディスプレイの生産調整の影響を受けた。</li> <li>ただし、電子部品用途、熱転写リボン用途向けPETフィルム等は好調に推移。</li> </ul>
炭素繊維 複合材料	13→7 (-6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要回復に伴い各用途向けとも販売は堅調も、工場の定期検査及び新規用役設備稼働開始に伴い費用が増加。</li> </ul>
環境・エンジニアリング	▲8 →▲7 (+1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジニアリング子会社の売上が低調に推移。</li> </ul>
ライフサイエンス	22 →20 (-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内医療機器子会社の販売が弱含み。</li> </ul>
その他	3→3 (-0)	
調整額	▲40 →▲41 (-1)	
連結	263 →274 (+11)	

## Ⅱ. 2011年3月期連結業績見通し



# 2011年3月期連結業績見通し

億円

		10年3月期 実績	11年3月期 従来見通し	11年3月期 今回見通し	対前年比増減	11年3月期 従来見通しと の差異
売上高	上期	6,179	7,334	7,334	+1,154 (+18.7%)	—
	下期	7,417	7,966	7,966	+549 (+7.4%)	—
	通期	13,596	15,300	15,300	+1,704 (+12.5%)	—
営業利益	上期	55	425	425	+370 (+674.1%)	—
	下期	346	405	535	+189 (+54.5%)	+130
	通期	401	830	960	+559 (+139.4%)	+130
経常利益	上期	▲ 27	405	405	+431 (—)	—
	下期	117	355	535	+419 (+358.2%)	+180
	通期	90	760	940	+850 (+943.7%)	+180
当期純損益	上期	▲ 63	249	249	+312 (—)	—
	下期	▲ 78	171	291	+369 (—)	+120
	通期	▲ 142	420	540	+682 (—)	+120

1株当たり 当期純損益	上期	▲4.5円	16.0円	16.0円
	下期	▲5.6円	10.5円	17.8円
	通期	▲10.1円	26.4円	33.9円

備考：為替レート的前提は、80円/US\$ (1月以降)  
原油価格見通しは、90US\$/B(DUBAI FOB) (1月以降)

# セグメント別業績見通し

(売上高／営業利益)

億円

		10年3月期実績			11年3月期 今回見通し			対前年同期比 増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	2,451	2,801	5,252	2,731	2,919	5,650	+280	+118	+398
	プラスチック・ケミカル	1,537	1,790	3,327	1,865	1,935	3,800	+328	+145	+473
	情報通信材料・機器	1,073	1,231	2,304	1,362	1,388	2,750	+289	+157	+446
	炭素繊維複合材料	210	297	507	319	361	680	+109	+64	+173
	環境・エンジニアリング	618	980	1,598	735	1,015	1,750	+117	+35	+152
	ライフサイエンス	223	243	467	255	265	520	+32	+22	+53
	その他	67	74	141	68	82	150	+1	+8	+9
	連結	6,179	7,417	13,596	7,334	7,966	15,300	+1,154	+549	+1,704
営業利益	繊維	28	136	163	136	185	320	+108	+49	+157
	プラスチック・ケミカル	36	80	116	121	129	250	+85	+49	+134
	情報通信材料・機器	74	176	250	213	207	420	+139	+31	+170
	炭素繊維複合材料	▲ 10	▲ 43	▲ 53	12	28	40	+23	+70	+93
	環境・エンジニアリング	▲ 3	42	39	▲ 15	45	30	-12	+4	-9
	ライフサイエンス	6	22	27	33	27	60	+28	+5	+33
	その他	1	7	9	4	6	10	+3	-1	+1
	調整額	▲ 76	▲ 74	▲ 149	▲ 78	▲ 92	▲ 170	-3	-18	-21
連結	55	346	401	425	535	960	+370	+189	+559	

# セグメント別営業利益 2Q時見通しvs今回比較

億円

セグメント	11年3月期 営業利益見通し 2Q時→今回 ( )内差異	増減益要因
繊維	275→320 (+45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の縫製品事業における生産性改善。</li> <li>アセアンの繊維子会社が、原料価格上昇に対して価格転嫁を積極的に推進。</li> </ul>
プラスチック ・ケミカル	210→250 (+40)	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外フィルム子会社およびマレーシア樹脂子会社は、原料価格上昇に対して価格転嫁を積極的に進めるとともに、拡販を推進。</li> </ul>
情報通信材料 ・機器	380→420 (+40)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般的に3Q以降の需要が想定より堅調。</li> <li>韓国フィルム子会社は、コストダウンに努め、前回見通し比増益の見通し。</li> </ul>
炭素繊維 複合材料	10→40 (+30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として、拡販を進めつつ、値戻しに注力。</li> <li>海外子会社は圧力用途をはじめとした産業用途の拡販、アジア向けグローバルオペレーション出荷を拡大。</li> </ul>
環境・エンジニアリング	40→30 (-10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジニアリング事業等が低調に推移の見込み。</li> </ul>
ライフサイエンス	60→60 (±0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ見通し通り。</li> </ul>
その他	15→10 (-5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ見通し通り。</li> </ul>
調整額	▲160→▲170 (-10)	(注) 2Q時見通しとは2011年3月期第2四半期 決算発表時(11月4日)の見通しです。
連結	830→960 (+130)	



本資料中の2011年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。